

生保内
小学校

実りの秋を体感 児童たちが稲刈り

10月2日、生保内小学校の5年生の児童34人が、秋晴れの空の下、稲刈りを行いました。6月に自分たちで田植えを行ってからの約5か月。稲は立派に育ち、実りの秋を迎えました。

ほとんどの児童が稲刈りは初めてということもあり、まず最初に鎌の使い方から。JA秋田おほこ農協の職員からのごじりのように前後に動かさず、手前に引いて刈ることを教わった児童たちは、最初こそ苦戦していましたが、コツをつかむとどんどん刈っていました。刈り終わると今度は脱穀。刈り取った稲をコンバインまで運びました。

児童たちにとって貴重な体験となった稲刈り。田口瑛太さんは「いつも機械で刈っているのを見ていたけど、初めて手で刈ってすごい大変だった」、高野莉央さんは「お米が私たちに届くまでにこんなに大変な作業があることを知ることができた」と話しました。



慣れてくると手際よく刈り取る児童たち。



コンバインでの脱穀作業。



みんなで気をつけよう

安全安心バスガイドが呼びかける

9月23日・29日の2日間、仙北警察署の署員がたっこちゃんバスの利用者へ交通事故防止と特殊詐欺への注意を呼びかけました。

始発から警察官がバスに乗り込み、高齢の利用者にチラシと藤原トア子さん（田沢湖梅沢）手作りのキーホルダーを手渡し、



バスの車内での呼びかけは市内では初めての試み。

高齢者の交通事故の状況や特殊詐欺の手法、ちょっとした雑談を交えながら「バスに乗ったらこんな話聞いた」と周りの人に広めてください。変な人が家に来たらまずは110番と呼びかけました。バスの中での取り組みは仙北市内では初めてです。

田沢湖交番の石川昭人 巡査部長は「一人ひとりゆっくりとお話ができる。バスに乗ったついでに気を張らないこともいいところ。今日聞いたことを地域の人たちの中で広めてほしい」と。また、バスを利用した女性の方は、80歳を機にバイクの免許を返納したということで、「これも一つの交通事故防止」と話しました。



実際に乗ってみると車両前は見えず、死角がわかります。死

グランマートタカヤナギ田沢湖店の駐車場では、買い物客がパトカーの運転席に乗り、ここで子どもがしゃがんでいたら、酔っ払いが寝ていたら：と、死角を体感。体験者は「全然見えなかった。これから気をつけたい」と安全運転を改めて思い直した様子でした。

里山地域貢献パートナー協定都市交流事業 自然の恵みを感じながら交流

9月26日、里山地域貢献パートナー協定を結んだ株式会社伊藤園・NPO法人角館里山再生プロジェクト・仙北市の都市交流事業が行われました。

会場は松木内松葉駅前赤そば畑。7月に準備作業を行い、今回が都市交流事業の最初の活動です。参加者約30人は赤そばの花で一面ピンク色に染まる赤そば畑の中で雑草を取って手入れを行いました。ほかにも、隣に設置された養蜂箱では、ミツバチが赤そば畑で集めた蜂蜜を遠心分離器にかけて採取する体験も。

1時間ほど作業した後は、みんなでお昼ごはん。天然舞茸出汁の芋の子汁と松木内産地直売所の新米おにぎり、漬物を堪能しました。

午後からは、お茶の成分による効果の違い、ミツバチの生態や取り巻く環境などの講話が行われ知識を深めました。



赤そば畑の雑草を丁寧に取る参加者。



養蜂箱の巣枠を遠心分離器に入れて（写真上）、ハンドルを回すと（写真右）、ミツバチが赤そば畑で集めた蜂蜜を採取することができます。



ドローンで上空から撮影した赤そば畑。



藤園横手支店の伊藤慶昭支店長は「地域の方々のつながりができてよかった。今後も何かあればご協力させていただきます。コミュニティを広げていければ」と話しました。

お互い交流を深めながら、自然の恵みやつながりを感じる活動となった1日。10月31日には古城山での植樹も行われる予定で、今後も3者による活動が続きます。

田沢湖地方猟友会による初めての

ライフル銃・スラッグ弾射撃大会 が開催されました

昨年度、これまでの田沢湖クレー射撃場に併設して開設されたライフル射撃場で9月20日、第1回目の田沢湖地区の大会が開催されました。結果は次のとおり。（敬称略）

ライフル銃の部

優勝	中島栄孝	93点
第2位	田口昭英	85点
第3位	高田君雄	83点

スラッグ弾の部（散弾銃で使用する単弾頭）

優勝	羽川正樹	84点
第2位	佐藤弘	51点
第3位	小林克己	49点

新型コロナウイルス感染症対策支援情報

検査

！ 新型コロナウイルス感染症の自費検査をご希望の方へ

市立角館総合病院では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、無症状の方を対象に、自費診療でのだ液採取(LAMP法)による検査を10月7日(水)から実施することになりました。

ご希望の方は、お電話でご予約ください。

- 対象者／県内在住者および仙北市出身者で仙北市に帰省を希望される方で、
 - ▶会社に出社する際に陰性証明書が必要な方
 - ▶無症状であるが、周囲に感染者や濃厚接触者が出て心配で検査を希望される方
- ※ 咳や発熱(37.5℃以上)症状がある方や、強い倦怠感、味覚異常・嗅覚異常など、新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方は、対象外となります。
- ※ 過去に症状があった方は、症状が消失して10日以上経過した場合が対象となります。

- 費用
 - ▶20,480円(税込)・・・証明書発行料含む
 - ▶18,280円(税込)・・・検査だけを希望された場合
- 検査方法／だ液採取(LAMP法)
- 検査対応日時／毎週水曜日 13:00～14:00
- 検査人数／1日5人まで
- 申込方法／完全予約制です。当日の予約はできませんので、事前にお電話でお申し込みください。
 - 【受付時間】平日 9:00～16:00(土・日・祝日は除く)
 - 【電話】54-2111(市立角館総合病院 総務管理課)
- 検査時にご持参いただくもの
 - ▶運転免許証またはマイナンバーカード(本人確認のため)
 - ▶健康保険証および診察券(当院受診歴のある方)
 - ▶必ず、マスクを着用してお越しください。

検査の流れ

- 1 病院駐車場に来院されたらLAMP法の検査にきたことと車種、車のナンバーを電話(☎54-2111)で連絡ください。
- 2 係員が検査場所までご案内します。
- 3 運転免許証などと、健康保険証および診察券(当院受診歴のある方)で本人確認をします。
- 4 検査前に会計をします。
- 5 容器にだ液を採取します(5分程度かかります)。飲食やうがい後の検査は正確でなくなりますので検査予定時間10分前以降はだ液採取まで飲食やうがいはしないでください。
- 6 だ液採取後は帰宅していただけます。
- 7 検査結果は検査当日に速報を電話連絡します。証明書のお渡しは翌日以降の営業日となります【郵送を希望される方は、返信用としてレターパックライト(370円)をお持ちください】。

●注意事項

- ▶検査の結果が陽性の際は、保健所へ届け出する義務となっています。その場合、当院より保健所に連絡させていただきます。
- ▶検査の性質上、実際には感染しているのに結果が陰性になること(偽陰性)や、感染していないのに結果が陽性になること(偽陽性)があります。
- ▶検査結果については、検体採取時点での検査結果であり、将来にわたって有効なものではありません。

【問合せ】市立角館総合病院 総務管理課(角館町若瀬)
☎54-2111

予防

！ 旅館ホテルなどの従業員の健康管理の徹底を

10月から国の「Go To トラベル事業」に東京発着の旅行が追加され、人の交流がより促進されるものと見込まれます。

これまで感染対策の徹底をお願いしてきましたが、往来制限の緩和により、宿泊者の受け入れ増加とともに感染リスクも高まる恐れがあることから、次のとおり徹底をお願いします。

- ▶旅館ホテルなどの従業員は、各自出勤前に体温を計測し、発熱など、体調不良が認められる場合は出勤しないこと。

- ▶発熱がある場合はもちろんのこと、発熱がない、または軽微な場合であっても、味覚異常・嗅覚異常がある場合、もしくは感染が確定した患者と一定時間接触していた場合は、速やかに直接「あきた新型コロナ受診相談センター」に連絡・相談し、指示を受けること。

あきた新型コロナ受診相談センター

- ▶018-866-7050(24時間毎日受付)
- ▶018-895-9176(8:00～17:00毎日受付)
- ▶0570-011-567(8:00～17:00毎日受付)

「百寿」おめでとう！ いじやごます

9月20日、佐藤フユさん(田沢湖田沢)が100歳の誕生日を迎えられ、特別養護老人ホームたざわこ清眺苑でお祝いが行われました。
当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



高橋長寿支援課長(右)からフユさん(中央)に手渡されました。

熱中症の予防に / 西宮組が にこにここども園へ帽子を寄贈



9月30日、株式会社西宮組がにこにここども園へ首の日よけ付き帽子を80個寄贈しました。地域の皆さんのために何かしたいの思いから今回の寄贈に至ったそうです。
西宮幸美代表取締役へ帽子を選んだ理由をお伺いすると「猛暑が続く昨今、テレビで子どもたちが首の日よけ付き帽子をかぶっていたのを見て、熱中症の予防になると思った」と。また、「地元からスタートして、これから仙北市の中で何か必要だという声が聞こえてきたら協力したい」と話しました。



西宮代表取締役(左)から畠山園児(右)に手渡されました。

子園長は「今までは保護者の皆さんに準備していただいていた。暑い日が続く中、首にタオルを巻いたり工夫をしていた。10月3日の運動会で紹介して、外で遊ぶときに使いたい」と話しました。
来年以降も新入園児のために寄贈を続けるそうです。

栄光 ～輝くとき

わたしの主張2020県大会 尾樽部「じんごん」(神代中3年)が 最優秀賞

9月16日、城東中学校(秋田市)で中学生が自らの思いを語る「わたしの主張2020・第42回少年の主張県大会」が行われました。「人は支えられることで強くなれる」と題して発表した神代中学校3年生の尾樽部こころさんが最優秀賞に選ばれました。
尾樽部さんは母が所属する劇団わらび座が新型コロナウイルス感染症の影響で公演の中止を受けたこと、地域の方やわらび座を応援してくれる



9月29日、市役所田沢湖庁舎に笑顔で報告に訪れた尾樽部さん。

方励ましを受けて、活動を再開しつつあることを発表しました。
尾樽部さんは「私が生まれたときから親しんでいるわらび座をもっと知ってもらいたいと思って発表した。最優秀賞をいただいたときはびっくりしたが、認めてもらえたと思うと嬉しかった。全国に出場できればわらび座のことを伝えられる人が増えるし、新型コロナウイルス感染症の影響で元気がなくなっている方々に希望を与えたい」と話しました。
今後は北海道・東北ブロックで今大会の内容を審査され、代表に選ばれば11月に開かれる全国大会の出場候補に推薦されます。また11月11日には今大会の最優秀受賞者として秋田県庁で行われる「令和2年度青少年健全育成秋田県大会」に出席することが決まっています。